

2024 年度

国府台女子学院 中学部

第 2 回入試

国 語 (50 分)

**【注 意】**

1. この問題は、「始め」の合図があるまで開いてはいけません。
2. 問題を読むときに、声を出してはいけません。
3. 印刷が不鮮明ふせんめいでわからない場合や、その他わからないことがあった場合には、  
だまって手をあげ、先生にたずねてください。
4. 答えは、すべて解答用紙に記入してください。

注意Ⅱ句読点や記号もそれぞれ一字と数えます。

(室生犀星「動物詩集」より)

□ 次の各問題に答えなさい。

問一 次の——線部のカタカナは漢字に直し、漢字の読みはひらがなで答えなさい。

- ① 社交ジレイを真に受ける。
- ② 運動部に入部してシンシンをきたえる。
- ③ 学校はキヨウチヨウセイを育む場だ。
- ④ 家族が無病息災であるように願う。
- ⑤ 功徳を積む。

問二 次の詩中の□にあてはまる生き物をひらがなで答えなさい。(出題の都合上本文の仮名遣いを直しています。)

問三 次のア～エの文のうち、「せいぜい」の使い方が適切ではないものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自分なりにせいぜい勉強していきたい。
- イ 毎回、集会に来るのはせいぜい三人ぐらいだ。
- ウ 悩みごとがあつて昨日からせいぜい食べていない。
- エ クラスをあげてせいぜい彼を応援するつもりだ。

問四 他人の家族を敬って表現するとき用いる漢字を次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 成                      イ 令                      ウ 礼                      エ 祖

問五 他者を敬って呼ぶのに使う表記として、次の□に共通してあてはまる漢字一字を答えなさい。

- 女                      □殿                      □公                      □人

問六 次の三字熟語の空欄に当てはまる漢字一字を答えなさい。

試金□　　・・・物や人の真価を見極めるための試み。

※著作権処理中です

問七 次のうち正しい表現はどちらですか。記号で答えなさい。

小高い丘から（ア 暮れなずんできた イ 暮れなずむ）町を見下ろす。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

問八 次のア～エの神話や昔話のうち、関東地方に由来するものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 八岐大蛇      イ 金太郎      ウ 桃太郎      エ 因幡の白兔

問九 「寸分の狂いもない（少しの狂いもない）」、「寸評（ごく短い批評）」という言葉があります。これらの言葉から「寸」の意味を想像し「○○か」と読む場合、○の中にはどんな言葉が入りますか。○ひとつにつきひらがな一字で答えなさい。

問十 次のア～エの語のあとに共通して続く三字の語をひらがなで答えなさい。

ア 重力が      イ 音楽が      ウ 雲が      エ 手間が

問十一 「のべつ幕なし」という言葉を使って二十字以上三十字以内で短文を作りなさい。話を通じれば主語がなくてもかまいません。

※著作権処理中です

※著作権処理中です

※著作権処理中です

※著作権処理中です

※著作権処理中です

※著作権処理中です

(阿部夏丸『泣けない魚たち』 講談社)

問一 〓線部 a ~ d のカタカナを漢字に、漢字はひらがなに直して答えなさい。

問二 〓線部①「金作のやつは、そのたびに、夜中になると布団の中で泣いていたよ」とありますが、それはなぜですか。その理由としてもっともふさわしいものを次のア~エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 見知らぬ子どもに優しくして満州に子どもを残してきた罪を償おう  
として自分の浅ましさに失望しているから。

イ 敗戦の混乱の中にある満州に自分の子どもを残してきたことを何年経った今でも後悔し続けているから。

ウ 満州に残してきた自分の子どもや妻が殺されてしまったことを思い返して悲しみに暮れているから。

エ 自分子どもと同年代の子と関わりと忘れていた満州の家族のことを思い出してしまっているから。

問三 文中の ② にあてはまる言葉としてもっともふさわしいものを次のア~エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア むくれて    イ あきれて    ウ うなだれて    エ おどけて

問四 〓線部③「足が、がくがくと震えた」とありますが、この時の「僕」の気持ちとして考えられるものを次から全て選び、記号で答えなさい。

ア 怒り    イ 失望    ウ 諦め  
エ 驚き    オ 後悔    カ 恐れ

問五 文中の A ~ C にあてはまる言葉としてふさわしいものを次のア~エからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

A	ア よろよろと	イ ずんずんと
	ウ ばたばたと	エ じりじりと
B	ア ごそごそと	イ ごろごろと
	ウ ゆらゆらと	エ ひしひしと

C ア ぐらぐらと イ もくもくと  
ウ ぶすぶすと エ ところと

問六 ——線部④「(神様……)」と、お願いしたい心境だった」とありますが、「僕」はどのようなことを願っていたのですか。十字以上十五字以内で答えなさい。

問七 文中の⑤にあてはまる動作としてもっともふさわしいものを次のア～エから一つ選び、答えなさい。

ア すべる イ ほる ウ なめる エ さす

問八 ——線部⑥「ポカンと口を開けたまま」とありますが、この様子を表す、次の慣用句の空欄にあてはまる言葉をひらがな三字で答えなさい。

□にとられる

問九 ——線部⑦「黙り込んだ浦さん」とありますが、この時浦さんが考えているだろうこととしてふさわしくないものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 巨大な草魚を釣るためにはどうしたらよいだろうか。  
イ 金さんのためになんとか草魚を釣れないだろうか。  
ウ 三人ならば大きな草魚を釣れるのではないか。  
エ こんなに大きな草魚は釣れないのではないか。

問十 ——線部⑧「金さんと浦さんは、ニヤニヤしながら僕を見た」とありますが、その理由としてもっともふさわしいものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 自作の大きな釣り針を見て「僕」が予想外の反応をするのが楽しみだったから。

イ タオルの中身がわからない「僕」が中身を見た途端におびえるだろうと予想したから。

ウ 釣り針を見た「僕」が自分たちの期待通りに驚いてくれるはずだと思っていたから。

エ 今まで作ってきた釣り針の中で最もよくできたものだったので「僕」に自慢したかったから。

問十一 ——線部⑨「浦さんは、金さんのために草魚を釣ろうというのか」とありますが、浦さんはなぜ金さんのために草魚を釣ろうとしているのですか。その理由としてもっともふさわしいものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 三人で草魚を釣り上げれば仲間としての絆が深まり、満州に残した家族を思う金さんの苦しみを和らげられるかと思っているから。

イ 満州は金さんの大好きな土地であり、そこに住む草魚を釣ることによって金さんに喜んでもらいたいと思っているから。

ウ 金さんは満州に生息する草魚に深い愛着をもち、再び目にするのを切望していたのでなんとか釣ってあげたいかと思っているから。

エ 満州に家族を残して帰国したことを心残りに思っているだろう金さんのために、そこに縁のある魚を釣ってあげたいかと思っているから。

問十二 この文章の表現の特徴と効果としてもっともふさわしいものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 「ざあっ」「がぼん」など風や生き物が立てる音に擬音語を多用することのでいきいきとした情景が読者に伝わる。

イ 他者に発信できない「僕」の心の声を（ ）内に入れて読者に伝えることで内気で控え目な僕の人柄を表している。

ウ 草魚を知らない読者のために本文中に事典などの引用で説明を入れることで読者を物語に没入させようとしている。

エ 「僕」の金さんや浦さんに接する態度から言葉にせずとも理解しあえる相互の強い信頼関係が読みとれる。

